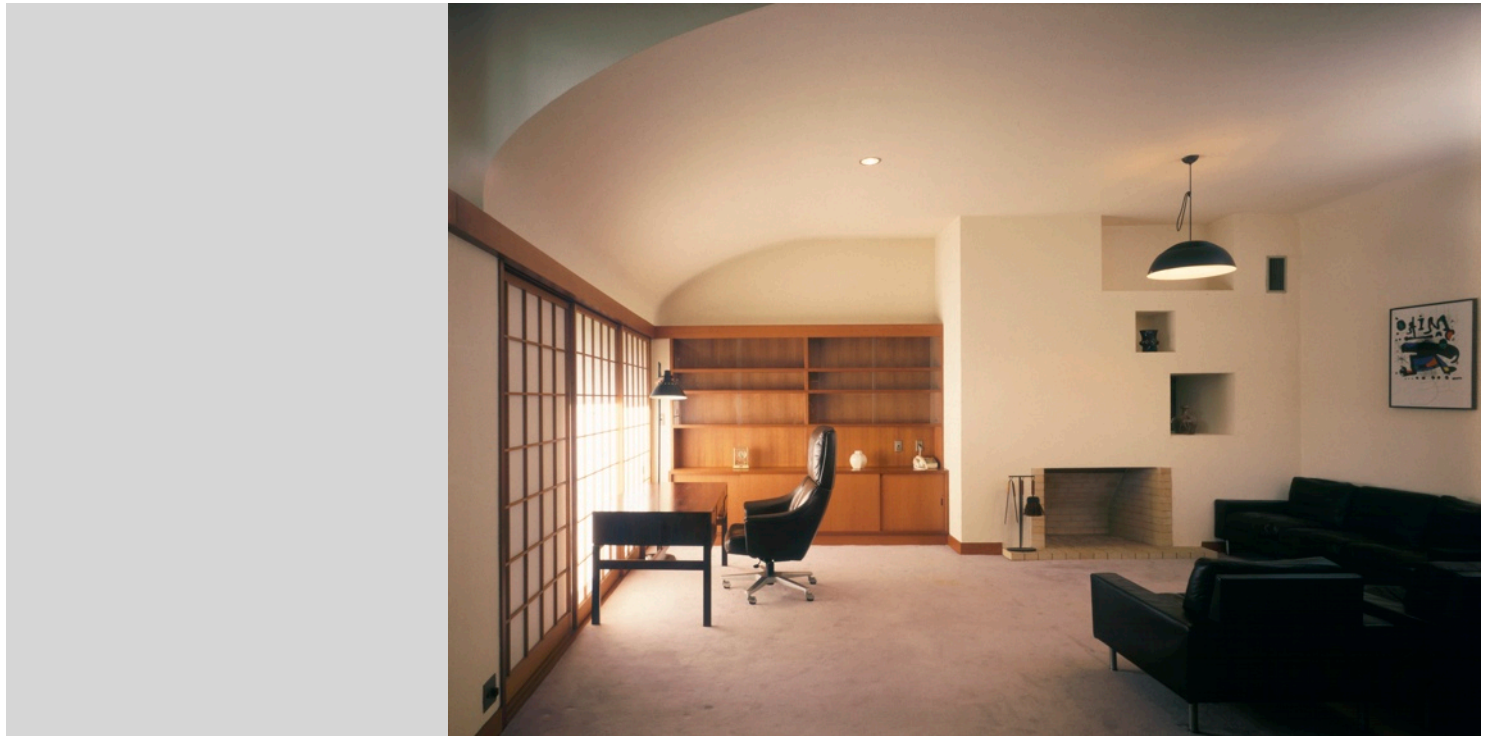


# 「新・前川國男自邸」セミナー

## -その価値と将来を考える-



「新・前川國男自邸」1階書斎（撮影：畑 亮、1986年）

### 企画主旨

前川國男（1905-1986）は、戦前戦後の日本の近代建築をリードした建築家で、上野の「東京文化会館」や「東京都美術館」などの作品で知られています。目黒にある「新・前川國男自邸」は、木造の「旧・前川國男自邸」（1942）が建っていた同じ敷地に、前川夫妻の終の住まいとして設計され、1974年に竣工した鉄筋コンクリート造の住宅です。

前川は、この自邸に、亡くなるまでの12年間、暮らしていました。彼は、この建物の設計に大きな思い入れがあり、大量のスケッチが残されています。また、その空間構成の考え方には、木造の旧邸を継承しつつも、ル・コルビュジエからの強い影響がうかがえ、自邸であるからこそ、根本にあった建築思想が読み取れる大変興味深い作品です。前川の没後、弟の前川春雄（元・日本銀行総裁）が引き継ぎ、外国人の住まいとして、長く住まれてきました。しかし、その後、所有者が変わり、将来的には、その存続が危ぶまれる事態となっています。

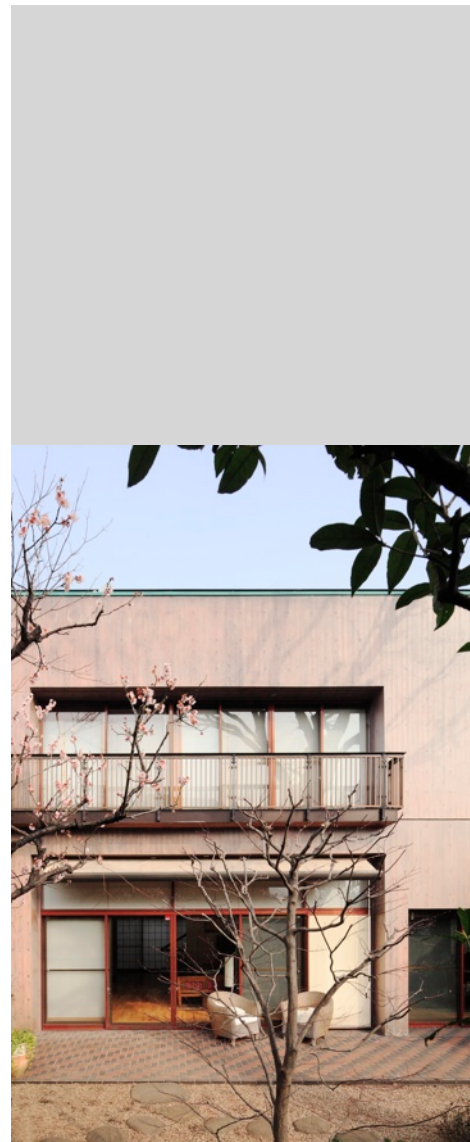
こうした中、この建物をこよなく愛する現在の住まい手の協力を得て、広くこの建物の価値を共有し、その将来像を共に築いていくことを目的に、セミナーと見学会を開催します。

当日は、この建物の設計担当者だった長澤甫明氏、前川事務所の元所員で、マッキンゼー・アンド・カンパニー東京支社長を務めた社会システムデザイナーの横山禎徳氏、近代建築の保存活動で活躍されている青山学院大学教授で建築史家の鈴木博之氏をお招きし、多角的にこの建物をめぐってお話いただきます。

近代建築の歴史の重要な一端を担うひとつの名作住宅として、また、建築家自身の自邸という意味からも、この「新・前川國男自邸」は、大きな価値を有するものであり、あちこちで同じような事例が増えてくることが予想される中、これを契機に、広く遺産としての住宅という視点についても、考えます。

## 企画概要

タイトル	「新・前川國男自邸」 セミナー ― その価値と将来を考える
日時	2010年5月23日（日） 15:00-17:30（開場14:45） 15:00-16:30 セミナー 16:30-17:30 見学・懇親会
ゲスト	鈴木博之（建築史家，青山学院大学教授，東京大学名誉教授） 横山禎徳（社会システムデザイナー，前川國男建築設計事務所OB）
コメンテーター	長澤甫明（「新・前川國男自邸」設計担当者，前川建築設計事務所OB） 橋本功（前川建築設計事務所所長） 木下壽子（(有)コミュニティー・ハウジング取締役，「新・前川國男自邸」管理者）
司会	松隈洋（建築史家，京都工芸繊維大学教授，前川建築設計事務所OB）
会場	新・前川國男自邸（東京都品川区上大崎，JR「目黒駅」から徒歩約5分）
会費	2,000円（事前振込）
定員	50名
参加資格	社会人で大会の主旨にご賛同いただける方（学生・児童は不可）
申込	要予約
申込期間	4月1日（木）から5月9日（日）まで 抽選の上、5月14日（金）までに結果をお知らせします。
問合せ先	(有) コミュニティー・ハウジング <a href="http://www.chousing.info">http://www.chousing.info</a> 森オフィス 森 桜 <a href="mailto:morisakura@nifty.com">morisakura@nifty.com</a>
申込方法	以下をご明記の上、メールで森オフィス 森 桜 <a href="mailto:morisakura@nifty.com">morisakura@nifty.com</a> までお申込ください。 (1) 申込者の氏名（ふりがな），職業，所属，電話，メールアドレス (2) 同伴者の氏名（ふりがな），職業，所属（同伴者は1名まで） (3) 合計人数
主催	(有) コミュニティー・ハウジング
協力	前川建築設計事務所，メリーベス・ストック，齋藤さだむ
企画協力	松隈洋，森 桜
備考	「新・前川國男自邸」は、現在もお住まい中の個人住宅です。 このため、見学できる人数や年齢、範囲に限りがあります。 見学範囲は、1階（居間，食堂，書斎，庭）と地階のDENのみです。 会場の所在地は、防犯上の理由により当選者のみお知らせします。 会費は、「新・前川國男自邸」セミナーの運営費に当てられます。



「新・前川國男自邸」外観（撮影：齋藤さだむ，2010年）

## ゲスト・司会／プロフィール

鈴木博之（すずき・ひろゆき）

建築史家，青山学院大学教授，東京大学名誉教授

ドコモモ・ジャパン代表，明治村館長，伝統的建造物保存技術協会理事，イコモス国内委員会委員，

文化庁文化財保護審議会専門調査改委員ほか。

1945年東京都生まれ，1968年東京大学工学部建築学科卒業，同大学大学院を経て，同大学専任講師，助教授，教授を歴任。2009年より現職。工学博士。

主な著作に『東京の地霊』（ちくま学芸文庫，2009）『近代建築論講義』（東京大学出版会，2009）『都市のかなしみ』（中央公論新社，2003）『都市の記憶』（白揚社，2002）ほか。主な受賞にサントリー学芸賞，日本建築学会賞（論文賞），建築史学会賞など。

横山禎徳（よこやま・よしのり）

社会システムデザイナー，言論NPO理事，オリックス，三井住友フィナンシャルグループ，三井住友銀行社外取締役，東京大学エグゼクティブ・マネジメント・プログラム企画・推進責任者，UIA2011東京大会日本組織委員会諮問評議会委員。

1942年広島県生まれ，1966年東京大学工学部建築学科卒業，1966年前川國男建築設計事務所入所，1972年ハーバード大学デザイン大学院修了（都市デザイン修士），1975年マサチューセッツ工科大学経営大学院修了（経営学修士），1975年マッキンゼー・アンド・カンパニー入社，1987年同社ディレクター，1989年同社東京支社長。主な著作に『アメリカと比べない日本』（ファーストプレス，2006）『「豊かなる衰退」と日本の戦略』（ダイヤモンド社，2003）『成長創出革命』（ダイヤモンド社，1994）など。

松隈洋（まつくま・ひろし）

建築史家，京都工芸繊維大学教授

1957年兵庫県生まれ，1980年京都大学工学部建築学科卒業，1980年前川國男建築設計事務所入所，2000年京都工芸繊維大学助教授，2008年より現職。工学博士。主な展覧会の企画に「生誕100年・前川國男建築展」（東京ステーションギャラリー他，2005-06）「文化遺産としてのモダニズム建築 DOCOMOMO100選展」（松下電工汐留ミュージアム，2004）など，主な著作に『近代建築を記憶する』（建築資料研究社，2005）『前川國男 現代との対話』（編著，六耀社，2006）『建築家・前川國男の仕事』（共編著，美術出版社，2006）など。